

下水道局だより

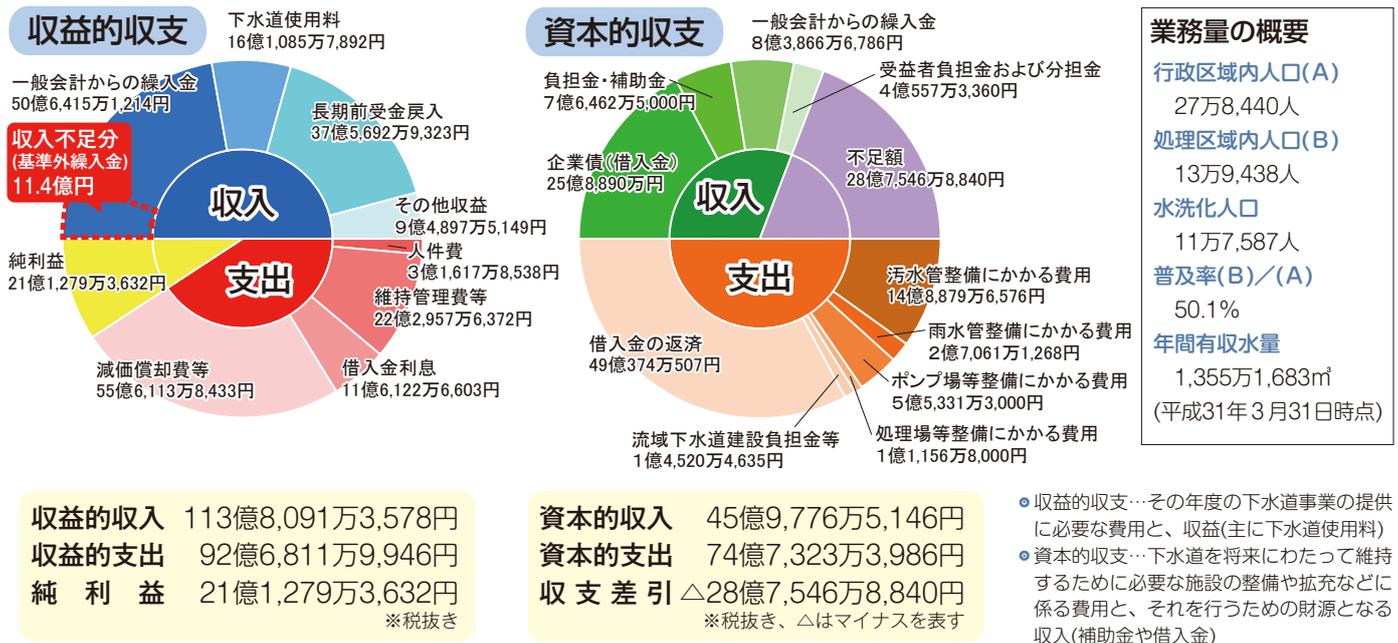
未来に引き継ぐ下水道 vol.7

令和元年11月1日発行
下水道局
☎239-1030 FAX 239-1037

市民の皆さんに津市の下水道事業をもっと知っていただくため、課題や経営状況についてシリーズでお話ししていきます。前回までの下水道局だよりでは、津市の下水道の課題や下水道使用料の改定について紹介しました。

第7回は、公共下水道事業会計の平成30年度決算の状況についてお話しします。

平成30年度決算の状況



【汚水収支】	収益的収入	90億9,364万9,731円
	収益的支出	74億2,376万9,736円
	資本的収入	37億7,336万8,865円
	資本的支出	56億6,880万8,841円

【雨水収支】	収益的収入	22億8,726万3,847円
	収益的支出	18億4,435万 210円
	資本的収入	8億2,439万6,281円
	資本的支出	18億 442万5,145円



平成30年度決算が出たんだね。



そうなんだ。下水道事業では汚れた水をきれいにする汚水処理事業と、浸水対策を行う雨水整備事業の2つの事業を行っているんだけど、原則、汚水は使用料収入などで、雨水は一般会計で負担するんだよ。



汚水処理事業と雨水整備事業を併せた決算なんだね。収益的収支(左グラフ)に21.1億円の純利益が出ているけど収入がたくさんあったんだね。



資本的収支(右グラフ)を見てほしいんだけど、不足額が28.7億円出ているんだ。これを補てん

するために収益的収支の純利益を使っているんだよ。



そういえば、今年度も収益的収支の一般会計からの繰入金の中に、11.4億円の収入不足分が入っているね。



これは汚水分の不足分で平成30年度も下水道事業の収入だけでは経費を賄うことができなかったから、税金を財源とした一般会計からの繰入金で補てんしているんだ。



平成30年度も使用料などの収入が足りない分を税金で賄う状況が続いているんだね。